

第 14 回学生研究報告大会 プログラム

【A：経済理論・国際経済・環境経済】

① 101 教室・3 時限目（13：40—15：20） 討論者：松波 淳也、馬 欣欣

11. 発展途上国の水問題を阻むもの—アジア・アフリカへの井戸支援事業の事例研究—（馬場ゼミ）
12. ロシアに対する経済制裁の影響と未来（田村晶ゼミ）
13. 自社株買いが株価に与える影響（奥山ゼミ）

② 101 教室・4 時限目（15：30—17：10） 討論者：松波 淳也、馬 欣欣

14. 日本のアパレル企業における過剰生産・大量廃棄を改善させるためにはどうしたらよいか（新田ゼミ）
15. 決済手段の変化と要因（奥山ゼミ）
16. 藍産業の衰退と藍農家の取り組みに関する研究（中谷ゼミ）

【B：文化社会・その他①】

① 102 教室・3 時限目（13：40—15：20） 討論者：富永 靖敬、古澤 直人

21. 大学への帰属意識醸成における大学スポーツの有用性（杉本ゼミ）
22. 大学新卒者採用における「求める人材像」の変遷（中谷ゼミ）
23. 精神的健康と運動の関連性（杉本ゼミ）

② 102 教室・4 時限目（15：30—17：10） 討論者：富永 靖敬、古澤 直人

24. 「自然国家」から「アクセス開放型社会」への移行の条件（後藤ゼミ）
25. 「地域ブランディング」による地域活性化—秩父地域の観光促進の事例研究—（馬場ゼミ）
26. 何故日本では避妊に対して無防備になっているのか（新田ゼミ）

【C：文化社会・その他②】

103 教室・3 時限目 (13：40—15：20)

討論者：タナカ ジェイ マツオ、八木橋 毅司

31. 保護猫殺処分ゼロ実現のためにできることとは—各地域、各個人の状況に合わせた解決策— (新田ゼミ)
32. 運動実施を用いた社会人基礎力の育成 (杉本ゼミ)
33. 公共交通空白地域の現状と解決策の検討—東京都八王子市を事例に— (馬場ゼミ)

【D：SA セッション】

103 教室・4 時限目 (15：30—17：10)

参加者：SA 委員会の先生方、タナカ ジェイ マツオ、八木橋 毅司

34. “The way of keeping their health in Davis” (Yuka Chonan, UC Davis)
35. “Comparison of Gender Gap between Japan and the U.S.” (Miri Nakazawa, UC Davis)
36. “Considering Japan’s Future Based on Canada’s Environmental Initiatives” (Momoka Akita, Brock University)
37. “Canada’s immigration policy and the potential of immigration in Japan” (Yuriko Kondo, Brock University)

※下線のある発表は、追加応募期間での応募のため、要旨は PDF で配布します。

報告論文と要旨については Hoppii の特設ページ「2022 年度経済学部 学生研究報告大会 (AA0288)」の「教材」にて 10 月末日まで閲覧可能です。
仮登録して閲覧してください。